

北海道新十津川農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	1 地域との連携によるプロジェクト学習で、個々の専門的な力を身につけます。 2 アグリマイスター顕彰制度を活用し、資格取得や主体的に取り組む態度を身につけます。	B  B	1 教科内でのプロジェクト学習による科学性を高める指導を行います。 2 資格取得学習に意欲的に取り組む指導を行います。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	1 主体的・客観的に世界の農業や環境を学習し、地域や本校の取り組みに生かします。 2 郷土の歴史を踏まえて地域の魅力を学び、広くPRしていきます。	B  B	1 ICT等を活用して世界の農業情報よりその情勢を理解したり環境学習を行います。 2 地域の産業や魅力を理解して、その魅力を発信できる力を養います。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	1 地域の農業を理解し、積極的に地域の特産物や新作物の研究を行います。 2 GAP学習を通して、危機管理能力や経営の効率化を図る学習を行います。	A  B	1 地域の特産物や新作物の積極的な研究を地域と連携して行います。 2 GAP学習に取り組むとともに、危険認知力を高める指導を行います。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	1 幼小中との連携による食育学習を推進します。 2 地域との連携強化を通して、地域農産物の6次産業化を推進します。	A  B	1 野菜や米を中心に、食育体験学習を行います。 2 地域農産物の生産、加工、販売の基礎研究を実施して、地域の関係機関との連携を強化します。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	1 「みどりの食料システム戦略」を実践し、積極的に持続可能な循環型農業に取り組みます。 2 地域における環境問題について、積極的に学習し、情報を発信します。	B  A	1 廃棄資源を活用した堆肥の生産、廃棄物を減少させる工夫を行います。 2 地域と連携して、地域の環境問題について理解を深め、解決策を考えます。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	1 地域の関係機関（商工会・福祉施設・農家等）と積極的に交流し、農福連携に取り組みます。 2 地域資源の生産と食農学習に取り組みます。	B  A	1 福祉施設、農家、商工会、産業振興課等との連携による食用ほおずきの栽培と普及を行います。 2 米や作物を中心に本校産農産物を活用した食育学習を行います。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	1 企業・町との連携によるスマート農業学習を積極的に取り組みます。 2 ICTを用いた学習環境を整備するとともに積極的に活用します。	A  B	1 スマート農業学習を企業、産業振興課、北海道クボタと連携して取り組みます。 2 ICTを活用した農業生産に取り組みます。
	V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	1 地震、火災、水害等の防災訓練に取り組むとともに、農業の持つ多面的機能を活用した地域防災に取り組みます。 2 災害時における様々な活動について学習を深めます。	A  A